

## 第9回ファイテック研究交流会（石川セミナー）

東京大学農学部 阿部 淳

8月24日夜から26日昼にかけて、ファイトテクノロジー研究会（通称ファイテック）\*恒例のセミナーが金沢市の石川県職員会館に泊まり込みで行われました。

「篤農技術を科学する Part 4」というテーマのもと、地元で良質米を指向した大規模稲作に挑んでいる竹本さんを招いて話を伺ったほか、研究途上のもも含めて「活きのいい」話題が提供されました。「篤農技術……」というテーマにこだわらず、別掲のような多様な話題が提供されましたが、自分たちの持つ知識や技術をいかに実用に活かすか、あるいは、日本の大学における教育や研究のあり方はこれでいいのかといった問題意識が鮮明に感じられました。討論も活発で話題提供と併せて1時間の持ち時間いっぱい議論がなされました。ただ、堅苦しさは全くなく、TシャツにGパンや短パンといった姿の参加者が多く、話題提供の最中にも質問が飛び交い、笑い声の絶えない気さくなセミナーでした。

セミナーに先立って24日夜は金沢市内で黒ビールを飲みながら、また、25日は郊外の立派な造りの民家を利用した割烹料理屋で舌鼓を打ちながら懇親するという趣向で、20人程度と少ないこともあって、皆がお互いの顔と名前を覚えて参加できる企画でした。年によっては、自分たちで炊事もしながらということもあるそうです。話に聞く、アメリカの研究者らの夏の学校というのはこういうものかなと思いながら参加させてもらいました。

滋澤さん（現農工大）を中心にファイテックが発足してから10年近くになるということでマンネリ化を心配する声もありましたが、大学院生ら今回が初めてという若いメンバーの参加もあり、まだまだ先が楽しみという印象を受けました。今回は西浦さん（大阪府大）のとりもちで根研究会との共同企画にいただきましたが「篤農技術を科学する Part 4」というテーマに気おされたのが根に関連する発表はわずかでした。今後の企画でも、根研究会からの参加を歓迎して下さるとのことですので、気分を若返らせて日頃の研究に活を入れるためにも積極的にご参加下さい。

最後に、今回の企画を準備して下さったファイテック世話役の林さん（京大）、橘さん、大角さん（石川県農業短大）にお礼申し上げます。

---

\*ファイト (phyto-) は植物の意味です。ファイテックについては昨年12月発行の本誌第3巻第4号をご参照下さい。

# ファイテック研究交流会 石川セミナー プログラム

平成7年8月24日～26日

## 【8月24日(木)】

- 16:00～ 現地集合（受付開始）  
18:30～ 懇親会（未定）

## 【8月25日(金)】

- 9:00～10:00 DIFに関する新しい知見  
京都大学 清水 浩
- 10:00～11:00 波形データの処理について  
データ変換時の基本事項  
東京農工大学 笹尾 彰
- 11:00～12:00 霞ヶ浦の水質浄化と農業  
－水田利用の底泥大量乾燥と水田の復元－  
東京農工大学 澁澤 栄
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 イネの根系形成を考える  
－ファイトマーの数と大きさに着目した形態モデル構  
築へ向けて－  
東京大学 森田茂紀・阿部 淳
- 14:00～15:00 成形トレイのセルの形状と幼苗の生育  
京都大学 林 孝洋
- 15:00～15:30 休憩
- 15:30～17:30 食味向上に活路を求め  
有限会社 竹本農場 竹本敏晴
- 17:30～18:00 懇親会会場へ移動
- 18:30～21:00 懇親会（喜太）

## 【8月26日(土)】

- 9:00～10:00 ラン培養苗の画像処理による選別について  
東京大学大学院生 海津 裕
- 10:00～11:00 ドイツで考えた農業機械の研究  
京都大学 梅田幹雄
- 11:00～12:00 総会（シンポジウム報告など）  
解散